

# 1人当たりのごみ排出量、彦根市は県内ワースト

## 彦根市で出されるごみ量

彦根市では約 11 万人が生活し、暮らしていく中で、多くのごみが出されています。その量は 1 日に約 120 トン。1 人当たり 1 キログラム以上のごみを、毎日出していることとなります。

これは、滋賀県の市町の中で、一番多いごみの量です。ごみの処理に必要なお金も、1 年間に約 12 億円、1 人当たり 1 万円を超える状態が続いています。

## ごみが最後に行く所

ごみの中でも、いちばん量が多いのは「燃やせるごみ」です。清掃センターで燃やした後は、灰が残ります。その灰が最後にたどり着く場所は、彦根市から離れた大阪湾です。

海の中に作られた埋立地で、14 年後の平成 39 年まで、近畿 2 府 4 県から焼却灰などを受け入れる「フェニックス計画」が行われています。

フェニックスとは、ヨーロッパに伝わる架空の鳥です。寿命が近づくと炎に飛び込み、灰の中から再び生まれてくると言われています。

## 捨てる前にひと手間だけ

現実の埋立地は、フェニックスのように無限に再生し、使えるわけではありません。

ごみ袋を集積所に出す前に、その中身をもう一度見直しましょう。

- ・資源になる古紙は混じっていないか
- ・食べ残しや生ごみが多くないか
- ・燃やしてはいけないものを「燃やせるごみ」に出していないか

ごみを捨てる前に、ひと手間だけ。皆様のご協力をお願いします